

# 雪舟 ウィーク

山口で活躍した室町時代の画僧・雪舟等楊(1420-1506)。当館では、昭和54年の開館以来、雪舟作品の収集・展示を重要な柱として位置づけ、重要文化財3点をはじめ、雪舟流を継いだ雲谷派の作品など、雪舟に関わるテーマの展示を開催してきました。これら地域ゆかりの優れたコレクションの魅力味わい、美術館に親しんでいただくきっかけとなるよう、今年度から新たに「雪舟ウィーク」を開催します。

ウィーク期間中は、コレクションを中心とする雪舟作品の特別展示をはじめ、関連イベントも行います。

平成25年11月1日[金]—11月7日[木] ※11月4日(月・祝)は開館(11月5日(火)休館)

\*11月23日(土)は、雪舟研究会公開講座を美術館にて行います。  
\*11月中は山口市中心商店街も含め、雪舟関係の特別イベントが目白押しです。  
\*11月1日～7日は、教育文化週間のため、コレクション展は無料。

## コレクション特別展示

### 雪舟と雲谷派5 雪舟

当館所蔵の重要文化財・雪舟作品3点を一堂に見ることができるのは、ウィークの期間を含む約1ヶ月間だけです。今回は、当館のコレクションのみならず、山口県内に伝わる雪舟の作品もあわせて特別に展示します。雪舟の魅力に触れることができる貴重な機会をどうぞお楽しみください。

■期間 10月29日(火)～12月1日(日)  
■場所 山口県立美術館 1階 コレクション展示室C



雪舟等楊筆「牧牛図(牧童) 山口県立美術館蔵 重要文化財



雪舟等楊筆「敬高克恭山水図巻(部分) 山口県立美術館蔵 重要文化財

### 雲谷派屏風を露出展示!

通常はガラス越しにしか見ることのできない、雲谷派の屏風作品を、畳の上の空間で露出展示します。実作品を前にして、学芸員のギャラリートークも行います。

■期間 11月2日(土) 9:00～17:00  
■場所 山口県立美術館 1階 コレクション展示室C

# 2013 - 2014 schedule

山口県立美術館 平成25年度年間スケジュール

	展示室 A	展示室 B	展示室 C	展示室 D	展示室 E	展示室 F
10	10/1(火)～12/1(日) スピリチュアルな世界	10/1(火)～12/1(日) 修復完了記念年間企画 全57点公開 香月泰男のシベリア・シリーズIV 郷愁—チェルノゴルスク収容所	10/1(火)～10/27(日) 山口の幕末絵師 狩野芳崖 10/29(火)～12/1(日) 雪舟と雲谷派5 雪舟	10/10(木)～12/8(日) 特別展 大本山増上寺秘蔵 五百羅漢図 —幕末の鬼才 狩野一信		
11				休館(12/24-1/1)		
12	12/3(火)～1/26(日) 福田勝治のモダニズム	12/3(火)～1/26(日) 修復完了記念年間企画 全57点公開 香月泰男のシベリア・シリーズV 日本海をめざして	12/3(火)～12/23(月・祝) 山口の仏教美術	1/2(木)～2/16(日) 澄川喜一と植木茂		
1			1/2(木)～1/26(日) めでたづくし	1/21(火)～1/26(日) 第66回山口県学校美術展覧会 1/29(水)～2/2(日) 山口県立大学卒業制作展 2/6(木)～2/9(日) 山口芸術短期大学卒業制作展 2/13(木)～2/16(日) 山口大学教育学部美術教育卒業・修了制作展		
2	1/28(火)～4/6(日) 牛腸茂雄 SELF AND OTHERS	1/28(火)～4/6(日) 修復完了記念年間企画 全57点公開 香月泰男のシベリア・シリーズVI (私の)シベリア	1/28(火)～2/20(木) 日本美術のことば〈前編〉 2/27(木)～4/6(日) 日本美術のことば〈後編〉	休館(2/21-2/26)		
3				3/13(木)～3/30(日) 第67回山口県美術展覧会		

## Information

■休館日  
月曜日(月曜日が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館)  
展示替期間  
2013年12月24日(火)～2014年1月1日(水・祝)、2月21日(金)～26日(水)

■開館時間  
9:00～17:00(入館は16:30まで)

■料金  
コレクション展:一般300(240)円 学生200(160)円  
※( )内は20名以上の団体料金。  
※18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍する方等は無料。  
※身体障害者手帳、戦傷病者手帳、知的障害者手帳、精神障害児手帳の交付を受けている者及びその介護人は無料。

特別展:別途定めた料金

f フェイスブックはじめました



山口県立美術館  
Yamaguchi Prefectural Art Museum  
〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1  
TEL:083-925-7788 FAX:083-925-7790  
http://www.yma-web.jp/

Yamaguchi Prefectural Art Museum

# 120

Contents

コレクション展

特別展

大本山増上寺秘蔵 五百羅漢図  
—幕末の鬼才 狩野一信

HEART2013

入館者600万人突破・館内施設紹介

雪舟ウィーク

年間スケジュール

山口県立美術館ニュース「天花」

# 天花

TENGE

Collection

## コレクション展

# 澄川喜一と植木茂

1/2 木 - 2/16 日

表紙作品解説

《MASK-UN》 澄川喜一 1968年 山口県立美術館蔵

すくくと立ったこの作品は、人間の身体のイメージを表しているようにも見えます。どこことなく、お面をつけて大地に立つアフリカの先住民の姿と重なって見えてこないでしょうか。

タイトルに「UN」とつけられているのは、「あ・うん」の「うん」のことです。仁王像があ・うんの対であるように、この作品は《MASK-AH》という作品と対で、1968年の神戸須磨離宮公園第1回現代彫刻展に出品され、宇部市野外彫刻美術館賞を受賞しました。

作者の澄川喜一(1931-)は、東京スカイツリーのデザイン監修をつとめた日本彫刻界の重鎮であり、木彫による抽象的形態を長年にわたり追求してきました。

コレクション展「澄川喜一と植木茂」では、澄川喜一の木彫作品とともに、抽象彫刻のパイオニア的存在だった植木茂(1913-84)の作品もあわせてご覧いただけます。2人の個性あふれる木彫作品の魅力をどうぞお楽しみ下さい。

(山口県立美術館副館長 斎藤 郁夫)



《MASK-UN》 澄川喜一 1968年 山口県立美術館蔵

山口県立美術館ニュース「天花」第120号 平成25年10月17日発行

編集 指定管理者サントーパブリシティサービス株式会社 発行 山口県立美術館 印刷 國華社写真印刷株式会社

## 特別展



2013年 10月10日[木]→12月8日[日]

近年、国内外で高い注目を集める、幕末の江戸に生きた絵師、狩野一信(1816-63)。彼の画業を代表するのが、総勢500人の羅漢たちの営みを描いた「五百羅漢図」です。その驚い信仰心と、絵師としての情熱によって生み出された、全100幅という壮大なスケールをもつ驚異の仏画は、浄土宗大本山の増上寺に奉納されて以降、近年まで秘蔵されてきました。

本展は、一信の没後150年を迎え、「五百羅漢図」全100幅を一挙に大公開する、西日本初の試みとなります。さらに一信の新出作品も含めた総数106点によって、緻密で独創的、かつあやしげな迫りに満ちた極彩色の世界をご堪能ください。

- 休館日：月曜日  
※ただし10月14日、11月4日は開館(翌10月15日(火)、11月5日(火)休館)
- 観覧料：一般1200円(1000円)  
シニア・学生1000円(800円)  
※18歳以下無料。シニアは70歳以上の方。( )内は20名以上の団体料金。
- 主催：五百羅漢図展実行委員会  
(山口県立美術館、朝日新聞社、yab山口朝日放送)
- 監修：山下裕二(明治学院大学教授)
- 企画協力：広瀬麻美(浅野研究所)
- 後援：九州朝日放送、広島ホームテレビ
- 特別協力：エフエム山口
- 特別協賛：ミサワホーム中国山口支店

## あの世とこの世を 描き尽くした 名場面100



五百羅漢図 第22幅 六道 地獄

### 地獄に羅漢

地獄で業火の責め苦を受ける人々。そこへやってきた羅漢一行、神通力で黒雲を起し、風を送って灼熱の苦しみを和らげてくれます。斜めに吹き下ろされる風が見事! モンスターたちが吐く炎も曲ってしまうほどの威力です。



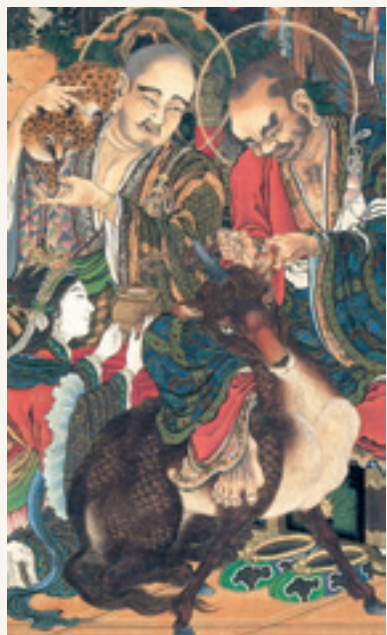
五百羅漢図 第30幅 六道 畜生(部分)

### 見よ! 腹から仏

六道のうち畜生道に生きるお猿さんには、腹に秘めた仏をぐいっ。言葉は通じない相手にも、仏の教えを伝えます。

### 奇想天外、超能力の数々

羅漢さまが念じれば頭から水だっこの通り、乾きに苦しむ生きものを助けます。カんだ感じがなんともリアルです。



五百羅漢図 第61幅 禽獣(部分)

### 霊獣をてなずけ、たわむれる

江戸時代、「必ず自分そっくりの像がある、亡き大切な人に対面できる」と五百羅漢信仰は一大ブームに。霊獣たちとたわむれる羅漢は、ペットを可愛がる隣のおじさまそのものです。

### 五百羅漢とは?

羅漢とは、仏教の修行において最高段階に達した人。なかでも五百羅漢は、“釈迦の直弟子としてその教えを伝えた500人の聖者たち”とされています。

### 狩野一信とは?

江戸本所林町(現在の東京都墨田区立川)生まれの一信は、狩野派で学んだと言われますが、その履歴は未だ謎も多く、近年大いに注目されている人物です。



五百羅漢図 第51幅 神通(部分)

## 第7回山口県総合芸術文化祭 HEART2013

平成26年3月13日[木]—3月30日[日]

今年7回目を迎えるHEART2013は、創始以来66年の歴史を誇る山口県美術展覧会を核として開催いたします。会期中は、美術館(美術)と街(日常生活)をつなぐためのイベントを企画し、「ものづくり」とそれを通じた「コミュニケーション」の楽しさや大切さを伝えていきます。

- 東日本大震災復興支援文化財レスキュー・チャリティ・カレンダー 2014 販売(平成25年10月~12月)
  - 県美の森で遊ぼう
  - ワークショップ ほか
- 詳細は後日、山口県立美術館ホームページにて紹介します。http://www.yma-web.jp/



## 第67回山口県美術展覧会

平成26年3月13日[木]—3月30日[日]

- 観覧料  
一般 500(400)円 学生 400(300)円 ( )内は20人以上の団体料金  
※70歳以上および18歳以下の方、中等教育学校、高等学校、特別支援学校に在籍する方等は無料です。
- 休館日 3月17日(月)・24日(月)
- 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 会場 山口県立美術館

美術にはさまざまなアプローチの仕方があります。自分だけのオリジナルな作品を「つくる」、人の作品をじっくり「みる」、あるいはボランティアとして展覧会やワークショップを「ささえる」ことも美術にとって大切な活動の一つ。山口県美術展覧会は、そんな美術をめぐるいろいろな活動に参加できる絶好の機会です。今年で67回目をむかえる県美展をどうぞお楽しみに。

- 今年度の審査員(50音順)  
水沢 勉(みずさわ・つとむ) 美術評論家 神奈川県立近代美術館 館長  
ヤノバケンジ 美術家 京都造形芸術大学教授  
山口 裕美(やまぐち・ゆみ) アートプロデューサー アート系NPO法人「芸術振興市民の会」(CLA) 理事

- 特別展示  
昨年度の大賞受賞者、逢坂日出夫氏、河野文彦氏、田中径氏による新作を展示します。



第66回山口県美術展覧会大賞受賞作品  
逢坂日出夫 河野文彦 田中径  
「ここではない、どこかへ・・・」

### 東日本大震災復興支援 文化財レスキュー・チャリティ・カレンダー 2014

2011年に被災した文化財を救出・保全するため、今年も「文化財レスキュー」支援のチャリティ・カレンダーを作成いたします。(1部500円)  
昨年度は、初回を上回る収益を上げることができ、被災地の文化・芸術の復興支援活動に620,100円を寄付することが出来ました。ご協力くださいました多くの方々に、この場をかりてお礼申し上げます。3回目となる本年も、山口県美術展覧会にゆかりの深い美術家12名のご協力を得て作成し、2013年10月中旬から販売いたします。(売り切れ次第、販売終了。)

## 山口県立美術館 入館者600万人を突破しました!



平成25年8月13日(火)、昭和54年の開館から33年と10ヶ月を経て、600万人目のお客様をお迎えすることが出来ました。これまでご来館いただきました多くのお客様、ならびに関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。  
今後も、雪舟と雲谷派、香月泰男、松田正平など山口ゆかりの作家を中心とするコレクションの更なる充実を図るとともに、多彩な特別展の開催などさまざまな活動に取り組んでまいります。

## 館内施設紹介

### ミュージアムショップ

光をふんだんに取り入れ、明るく開放感のあるミュージアムショップでは、展覧会関連グッズに加え、バラエティ豊かな紙を素材にした商品やマスキングテープなど、美術館ならではのデザイン性あふれるグッズを多数取り揃えています。  
チケットをお持ちでない方もご利用いただけますので、気軽にお立ち寄りください。



### 講座室

美術館講座室は、一般の団体様にも貸し出しをしております。  
ワークショップや映画上映会、講演会、会議など様々な用途にご使用頂けます。詳細は美術館までお問い合わせ下さい。

※美術館主催事業のスケジュール上、ご利用頂けない日程もございます。



### 施設概要

- 収容人数 約80名(イス席の場合)
- 主な備品 電動式スクリーン、プロジェクター、マイク(ワイヤレスマイク、ピンマイク各1本)、DVDデッキ、ホワイトボード、長机、イス など